

ま っ か わ

□□□ 第3号 □□□

中体連 下伊那大会へ

本日6月7日(金)に、中体連の大会に向けた壮行会が行われました。出場する選手のみなさんは、颯爽とステージに上がり、フロアからは素晴らしい応援の声が体育館に響き渡りました。3年生は、この中体連の大会を目標にして、1年から部活動に励んできたことと思います。今週末【8日(土)、9日(日)】には、多くの種目の中体連下伊那大会が行われます。松中生の代表として、勝負はもちろん、マナー面でも他の中学校を圧倒してきてください。期待しています。

<6月5日(水)の校長講話より>

今日は「安全と安心」というテーマでお話ししたいと思います。

まず、「地域からも応援されている松川中学校」ということで、昨年度は技研工業様、南信サービス様から、プロジェクターを寄贈してもらいました。今年度も先日5月13日にコシブ精密様よりデジカメを16学級数分寄贈されました。また、日常的にも「てらこや松中」「読み聞かせボランティア」「授業サポート」等で地域の方々に応援していただいています。本当に感謝です。

一方、ニコボラを通して地域を応援する中学生も増えていることは、とてもうれしいことです。

しかし、社会に目を向けると、全国で痛ましい事件や事故が最近頻発しています。登下校中や災害時に身を守る心構えをいつでも、どこでもしておきたいものです。学校内だって100%安全とは言えません。自分自身の安全を守るポイントとは・・・皆さんは「釜石の奇跡」という言葉を知っていますか。

岩手県釜石市で2011年3月11日の東日本大震災で亡くなった小中学生の数は5人。生存率は99.8%という奇跡が起こったのです。なぜこんな奇跡が起こったのか。キーワードは心と絆です。すなわち、防災教育を通して釜石の小中学生は「最後は自分で判断し、行動することが大切」という教をしっかりと心に刻んでいたという点。これは松中の学校目標の「自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒」と合致するところでもありますね。そして、絆。避難の最中に保育園や幼稚園、小学生の手を引きながら避難する中学生の姿。声を掛け合って避難誘導する地域の大人。地域のつながりがあったからこそその結果だったのです。今日の話の冒頭で「地域から応援され、地域を応援する松中生」というお話をさせてもらいましたが、まさにこのことと重なるわけです。私たちも命に関わる安全な生活を送るということにおいても、日常生活、学校生活を通して、さらに心を磨き、絆を深めていきたいものです。

ちょっと息抜き・・・失礼しました。話を本題に戻しましょう。

さて、次に安心ということについて話をしたいと思います。「3年A組」というテレビ番組を知っていますか。現3年生の大場君が昨年の3学期の終業式で発表してくれた作文の中に、この番組のことが登場しました。1年生は知らないのですが、その時の作文の一部を紹介します。『「3年A組」とは、卒業式十日前に、生徒たちを監禁した高校教師の謎の行動を描く学園ミステリードラマです。一人の女子生徒が自殺した原因は、一人の教師のフェイク動画の依頼だったが、二次災害としてSNSユーザーのよる言葉の暴力でした。今の時代スマートフォンやパソコンは誰もが使える身近にあるものとなっています。実際に僕もLINEを使っています。SNSは自由に言葉を発信することができ、誰



とでも繋がれる便利なツールですが、暴力装置にもなるということ、このドラマから学びました。僕はまだSNS関係でトラブルを起こしたことはありませんが、もしかしたら、この中には、そんなトラブルが起き困ったり、苦しい思いをしたりした人もいられるかもしれません。何気ない言葉、心ない言葉によって悲しい思いをする人がいることを考えてこの便利な時代を生きていこうと思いました。』

今年の生徒会では「みんなが認め合い、一人一人が輝く学校」を実現するために「いじめのない学校」をめざしています。そのためにも。今皆さん自身が最も考えていかななくてはならない問題ではないでしょうか。「みんなで話し合い、考えを出し合い、対策を考えていかなければ解決できない難しい問題」なのです。是非、生徒会でこのことに真正面から向かい合い、取り組んで欲しいと考えています。生徒会が動くことで何かが変わる！そう信じています。

今年も昇降口にツバメが巣を作っていますね。ひな鳥が飛び立つのが楽しみです。最後に北原白秋の詩を紹介して終わりにしたいと思います。



※保護者の皆様へ

松川中学校では、生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるように学校管理面や生活指導面で注意してまいりましたが、より一層安心して生活できる学校にしていくため、以下のことについても学校として配慮してまいります。

- ・生徒との個別相談では開放された場所で行ったり、複数の職員で相談に応じたりするよう配慮します。
- ・教室、研究室、その他諸室についてドアなどに掲示物を貼らず、外からも見えるようにするなど管理を適切に行うようにします。
- ・私的な電話、メール、SNS等のやり取りはしません。
- ・安全確保等社会通念上認められる範囲外の生徒への身体接触はしません。
- ・生徒の記録写真などは学校の公用サーバーで管理します。
- ・教育目的外で性に関することについて話題とすることはしません。
- ・室管理が不適正であったり、指導に対して不適切と感じたりしたときは、校内相談窓口へお知らせください。(松川中学校36-2073 担当(教頭)千野憲一)